

財政プロジェクトの参加した感想

自治労東大阪

財政分析の目的や意義は理解できましたか	理解できた。
財政分析の項目や指標でよく理解できた項目と分からなかった項目	歳入・歳出とも詳細はまだ理解しきれていない。 専門用語はとっつきにくい。
プロジェクトに参加して財政分析を行った感想	・これまで労使間での財政的な議論については、形式的な説明を受けてきたに過ぎなかったのだなと痛感。これまで当局に単純に「財政が苦しいから」とだけ言われて「そうなのかな」ということで納得していたことを恥じなければならぬ。そういう意味では財政分析と言うのは組合として当局と議論していくうえでは欠かせないもの。
今後の課題や抱負	今後の議論については、当局の説明をうのみにするのではなく、労働組合としても適切にデータを把握して分析して、何が問題であるのか。問題点を指摘するだけでなく、建設的な対案等も示していく必要あると感じた。きちんと理論武装して対抗していくことが必須。
プロジェクトや会議の運営について改善すべき点	・期間が少し短いのでは ・全体で集まる以外の個別のフォローがあれば良いのでは（個々の受講者の財政に対する知識等に応じたものになれば、さらに理解が深まるのではないかと） ・単組に戻って1人で作業するときの参考資料を充実させれば